

3 Androidアプリ開発

メンバー

電子情報科 3年

西川 祐史 松田 将

研究の目的

世界で最も普及しているスマートフォンOSであるAndroid。そのアプリを開発することでAndroidについての理解を深め、Java言語についても学ぶ。

研究の内容

作業の行程

開発環境の準備

プログラミング

エミュレータで実行、デバッグ

Android端末で実行

開発環境

TurboLinux2008/32bit

Windows7/64bit

Eclipse (version3.7)

AndroidJDK (version1.6.0)

AndroidSDK (version20.0.3)

エミュレータで実行、デバッグ

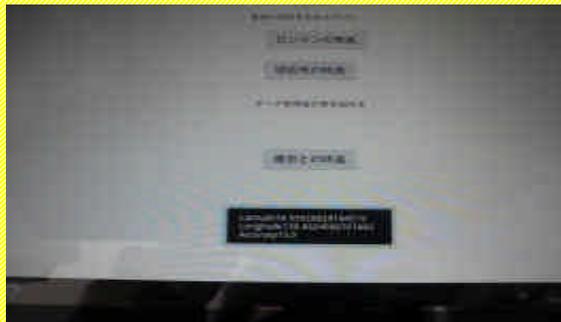
エラーがあるなら修正

エラーがなければ端末に

インストールし実行

作成したアプリの紹介

1. 緯度経度測定アプリ
GPS機能を利用したアプリ。
アプリを起動すると自動的に緯度経度を測定し始める。
ボタンを押すと時差が表示される。



←左図
実際に緯度経度を測定した画像。
ボタンの都市との時差を求める。

2. 静止画撮影アプリ
カメラ機能を利用したアプリ。
画面をタッチして写真を撮影できる。
オートフォーカス有り。

右図→
アプリを起動した画像。
画面をタッチすると写真を撮る。



研究の成果

この研究で、Androidアプリは簡単なものであれば誰でも開発することができるというのが分かったが、開発はできるだけ高性能（CPUスペックが高い）パソコンで行う方が効率的であるということも分かった。